事業完了報告書

提出日：　2023　年　4 月　5　日

1．事業概要

（1）実行団体名：一般社団法人 CSR プロジェクト
（2）事業名　：
企業内がんコミュニテイの育成による、がん治療と仕事の両立支援・ダイバーシティの推進
（3）事業実施期間：2020 年 4 月～ 2023 年 3 月
（4）資金分配団体名：公益財団法人　日本対がん協会

2. 規程類の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑　完了　／　☐　整備中
→上記で「整備中」を選択した場合、整備できていない理由を記載してください。また、事業開始時と比較して、整備状況が改善された点を記載してください。
（2）　整備が完了した規程類を自団体の web サイト上で広く一般公開していますか。
☒　全て公開した　／　☐　一部未公開　／　☐　未公開
→上記で「一部未公開」または「未公開」を選択した場合、その理由と公開予定日を記載してください。
（3）　変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。
☐　変更があり報告済　／　☐　変更があったが未報告　／　☑　変更はなかった
→上記で「変更があったが未報告」を選択した場合、その理由を記載してください。

3. ガバナンス・コンプライアンス体制の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1） 社員総会または評議員会、理事会は、規程類の定めるとおりに開催されていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（2） 内部通報制度は整備されていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「はい」を選択した場合、設置方法を以下から選んでください。（複数選択可） ☐ 内部に窓口を設置 ／ ☐ 外部に窓口を設置 ／ ☑ JANPIA の窓口を利用
（3） 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（4） 関連する規程類や資金提供契約の定めるとおりに情報公開を行っていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（5） コンプライアンス責任者を設置していましたか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。

（6） ガバナンス・コンプライアンス体制の整備や強化施策を検討・実施しましたか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→【任意】上記で「はい」を選択した場合、どのような検討・実施をしたか事例を記載してください。 2022 年の改正個人情報保護法に対応し、プライバシーポリシーなどの策定、団体理事、事業に関係するスタッフに改めて個人情報保護の遵守の徹底を依頼するメール、ミーティング（オンライン）を実施した。
（7） 団体の決算書類に対する会計監査はどのように実施しましたか。本事業の最終年度の状況を選択してください。（実施予定の場合を含む）
☑ 外部監査 ／ ☑ 内部監査 ※（複数選択可）
→上記で外部監査／内部監査を選択した場合、その実施者/実施時期を記載してください。 内部監査： （一社）CSR プロジェクト監事 勝又厚美 4 月 20 日頃を予定 外部監査： 宇久田進治税理士事務所 税理士 宇久田秀雄 4 月 15 日頃を予定
（8） 本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。
☐ はい ／ ☑ いいえ

4. 広報実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、設問に回答してください。

（1）シンボルマークの活用状況
☑ 自団体のウェブサイトで表示している ／ ☑ 広報制作物に表示している ☐ 報告書に表示している ／ ☐ イベント実施時に表示している ☑ その他 →「その他」を選択した場合は記載してください （自由記述）： シンボルマークであるタンポポのイラストはがん患者にとってはがんの再発・転移をイメージさせるものであり、広報などには使いづらく、休眠預金事業のマークおよび文章で明示しています。その旨は資金配分団体にも事前にお伝えしてご了承いただいておりました。

最終年度の広報実績について記載してください。

広報種類	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）	無	
広報制作物等	有	『WorkCAN's 秋の就労祭り』広報ちらし
報告書等	有	・2022 年 6 月 9 日開催ワーキング・ピア・サポーター養成合同研修会報告書 ・2022 年 11 月 8 日開催『WorkCAN's 秋の就労祭り』報告書

5. その他（本助成を通じて組織として強化された事項や新たに認識した課題、今後の対応/あればよいと思う支援や改善を求めたい事項など、自由にご記載ください。）

当該助成金事業の中核をなす＜がん経験者による企業内ピアサポーター育成＞を進めていく過程で、企業内の人事部や産業医との連携は、コミュニティ運営を進めるうえでとても重要である。しかしながら、現時点で、企業内におけるがん経験者の就労支援の取り組みについての啓発は十分とは言えず、今後は企業人事担当者・産業医に向けた更なる啓発が必要なことに改めて気づくことができた。また、事後評価報告書の中で述べたように、中小企業においては社内での取り組みに限界もあり、今後の課題となっている。さらに小児がんや若年のがん経験者の就学・就労支援においても、就学・就労支援が必要であるが、こうした課題が社会的に認知されているとは言い難く、今後一層の国や自治体を含めた社会支援が必要であると考える。

【添付資料】

活動の様子がわかる写真　5 枚程度

JANPIA の事業報告書や WEB サイト、SNS 等で公開可能な写真を 5 枚程度（1 枚 2MB 以下）ご提出ください。（肖像権・著作権に十分にご注意ください。）

それぞれどんな場面の写真なのか、1 枚あたり 50 字から 200 字程度で説明を記載していただきますようお願いいたします。

※ご提出をもって JANPIA での使用にご了承いただいたこととし、使用時に改めて確認はいたしませんので、ご承知のうえ、使用に差支えのない写真（使用許可をとった写真や個人が特定される写真を避ける等）を選んでいただきますようお願いいたします。

＜企業合同ピアサポート研修　Can Stars説明資料＞

サッポロのがん経験者の社内コミュニティ

Can　Starsについて

SAPPORO BREWERIES LTD.

SAPPORO

乾杯を
もっとおいしく。

サッポロビール株式会社
人事部
村本　高史

2021年8月

Copyright, SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

Zoom ミーティング

レコーディングしています...

ロールプレイでの役割について

誕生日が遠い人

発表者

発表者は観察者の感想や
グループ内での振り返りをメモし、
全体ディスカッションで発表

誕生日が近い人

ファシリテーター

全体の進行、ピアサポーターの対応についての
感想や助言

患者役（相談する側）

配布された相談内容に沿って話す

観察者

観察者は黙ってやりとりを見
守り、セッション終了後に気
づいたことや感想を述べる

観察者

ピアサポーター役を観察する人、
患者役を観察する人、
全体を観察する人など、複数で観察

ピアサポーター役

オブザーバーのひとりは
タイムキーパーを担う

時間内に完結しなくてOK！
早めに終わった場合は、終了の合図までは振り返りを始めず静かに待っていてください。

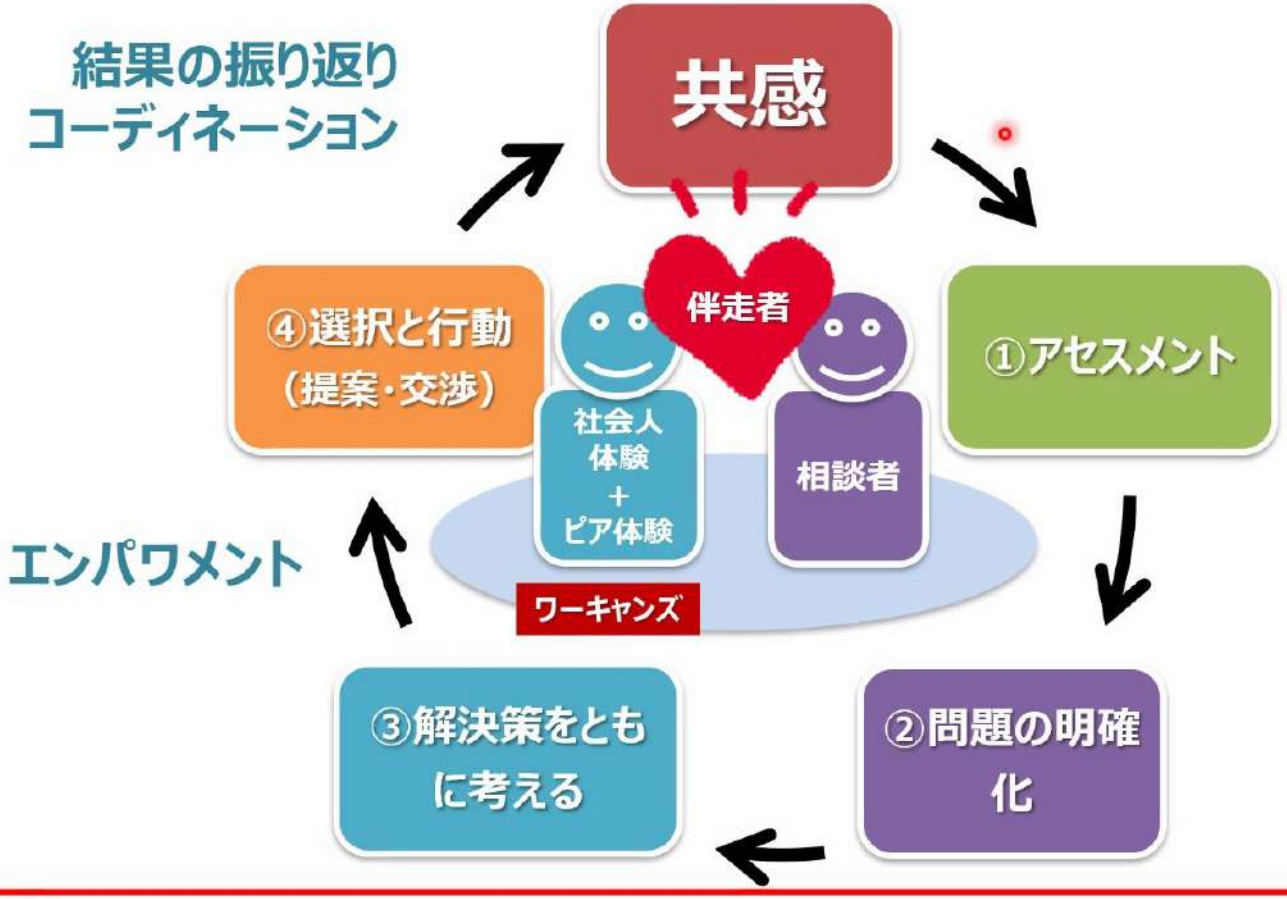
ワーキャンズ

WorkCAN's

働くがん経験者のためのピアサポーターズ

Zoom ミーティング
CSR_桜井なおみ の画面を表示しています
ビュー オプション
レコーディングしています...
表示

ワーキング・ピア・サポーターの意思決定支援の流れ



WorkCAN's　このサイトについて　ログイン　新規登録　?ヘルプ

ワーキャンズ

WorkCAN's®

このサイト「WorkCAN'sエピソードバンク」は、働く世代でがんの診断を受けた方の様々な暮らしにまつわる知恵や経験を蓄積しています。職場でのカミングアウト、業務量の調整の工夫、転職のヒントから周囲とのコミュニケーション、主治医との関係や入院・治療中の出来事など、仕事や生活の知恵を皆で共有し、これからの患者支援や研究に活かすことを目指しています。

あなたのエピソードを書く　エピソードを検索する

お知らせ　もっと見る

- 2022.10.13　ABCミニセミナー「知っておきたい乳がんのゲノム医療～転移性乳がんを中心～」
- 2022.07.06　ABCミニセミナー「緩和ケアによるQOLの維持・向上について」
- 2022.04.07　ABCアドボケートカレッジ　医療編：AYA世代の進行乳がん
- 2022.04.07　ABCミニセミナー「みんなで学ぼう　SABCS2021報告会」
- 2022.01.22　「新型コロナウイルス感染拡大が及ぼしたがん患者への影響調査（第2回）」結果～

副作用対策：味覚障害
治療の副作用で、味覚に変化はありましたか？

治療と仕事の両立で一番困ったことは？
仕事上での困ったこと、人間関係、家事や家族との関係など、どんな困りごとがありましたか？そしてどう対処していったか教えてください。

検索キーワード、文章を入力してください　検索

詳細検索はこちら

【1】WorkCAN’s　ロゴ

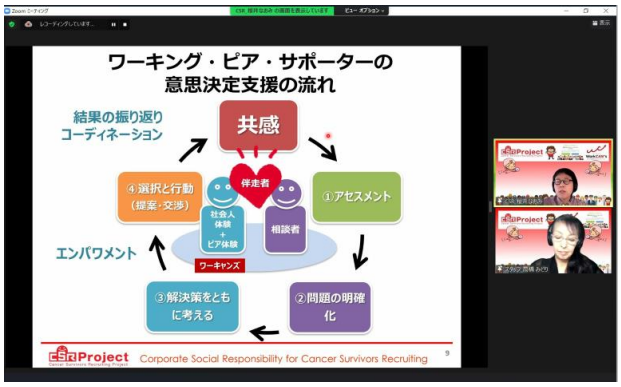
企業内ピアサポーター養成プロジェクトの名称とロゴを、実際に企業内でがん体験者のコミュニティを立ち上げている企業（コアメンバー）と作成。WorkCAN’s の名称のもとで、さまざまなプロジェクトを実施した。WorkCAN’s は「働くがんサバイバー」を表し、働くの「Work」とがんの「Cancer」、そして「働くがんサバイバーができること」の「Can」を組み合わせた言葉である。

【2】研修風景その1

ワーキング・ピア・サポーター養成　合同企業研修会では、事前に用意されたシナリオをもとにロールプレイを実施。どのグループも熱のこもったロールプレイを展開した。

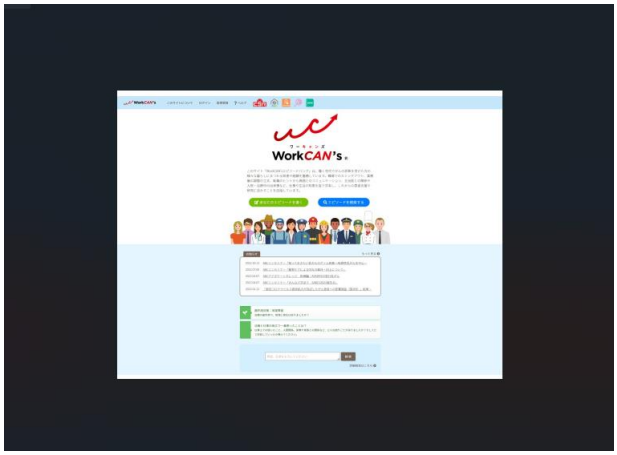
【3】研修風景その2

ロールプレイ終了後は各グループ内で実施内容を振り返り、よかった点・改善したい点などを全体ディスカッションで共有しながら、ワーキング・ピア・サポーターとしての質の向上に努めた。



【4】エピソードバンク

がん体験者、就労支援に携わる者が、治療と就労の両立に関わる自身の体験談（エピソード）を記載しいくコミュニケーションツール「エピソードバンク」をホームページ上に構築。新たにに参加するがん体験者は自分と近い環境の体験者のエピソードを検索・閲覧することが可能となる。IT の活用で、中小企業でのワーキング・サバイバーズのネットワークが形成され、悩みの共有や行動へのきっかけが生まれることも期待している。



【5】社内コミュニティ紹介動画

実際に企業内でがん体験者のコミュニティを立ち上げている企業（コアメンバー）が作成した社内コミュニティ紹介動画を WorkCAN’s 専用ページにて紹介。専用ページではワーキング・ピア・サポーター養成研修や、企業内コミュニティ立ち上げに関する資料も閲覧できる。